

# 1. 活用にあたって

生物多様性の保全の推進にあたっては、市民、事業者、行政など多様な主体による参加と協働が大切となります。この冊子では、動植物の生息・生育環境を維持・管理するなど、生物多様性の保全のために必要な活動を積極的に行う方々等に対し、必要となる取組の考え方、ポイントをお伝えし、生物多様性の保全の取組の充実を図ることを目的としています。

なお、生物多様性の保全の取組内容、手法等は、その活動の主体、場所、目的等によって異なり、多種多様なものとなります。特に、不特定多数の人々が利用する場所であれば、管理者以外にも複数の関係者が存在することが多く、画一的ではなく実情に応じて臨機応変に対応することが求められます。このような点にも十分配慮していただき、皆さんで仲良く、そして楽しく活動を続けていただけると幸いです。